

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入後, PDF ファイルを作成。

学校名	茨城大学	個人・グループ名	上岡 惇一	作品名	空飛ぶロボット兵
-----	------	----------	-------	-----	----------



○製作の動機, 目的

子供は動くおもちゃに感動します。そこで木材を使って, 動くおもちゃを考えてようと思いました。思い浮かんだのが, 「フライングバード」です。天井に吊るされた鳥の胴体についている紐を引くと, 羽ばたくおもちゃです。しかし, 鳥では面白くないと思い, ロボット兵にしようと思いました。また, 「フライングバード」は市販されています。しかし, 4000 円以上と高価です。安価に製作することも目的としました。

○利用方法

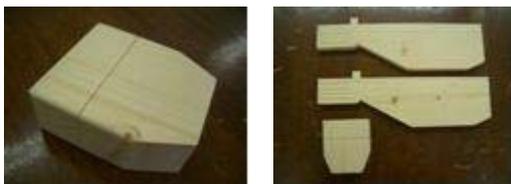
天井に吊り下げて, 紐を引くと羽ばたくおもちゃです。インテリアとして利用できます。また, 「フライングバード」を作る際に, 鳥以外の一つの例としても利用できます。

○材料

- 2 × 4 材 2 × 4 (木口寸法: 38 × 89 mm)
- 2 × 4 材 1 × 6 (木口寸法: 19 × 140 mm)
- ラミン丸棒 900 × 10 × φ
- 丸棒 φ30 mm
- 板材 厚さ 6 mm
- 釣り糸 3.0 号
- ヒートン

○製作過程

(1) 胴体と羽



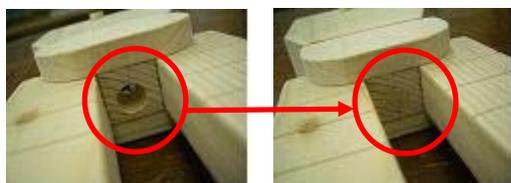
(2) 下半身と頭

腹・腰・足をばらばらに作るのではなく, 繋げて作りました。腰が腹と足より太くなるようにしました。



(3) 下半身と胴体の接合

コーススレットで接合し, 丸棒でふさぎました。



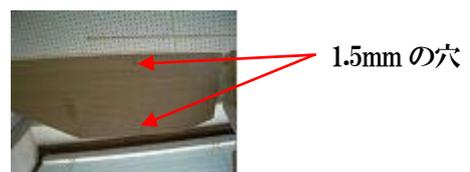
(5) 羽と頭を胴体に装着

羽と胴体を付けるために, ヒートンを使いました。ラジオペンチを使いヒートンを開閉しました。



(6) 糸を通す場所の決定

羽を支えて, バランスが取れるところを決定し, 羽に糸を通す穴を開けました。



(7) 仕上げ

引っ張る糸はホッチキスの芯に縛って, 芯を胴体につけました。

